

下水道による水質保全と雨天時浸入水対策および資源活用

- ▶ 琵琶湖保全再生法に基づく琵琶湖の水質保全や安全・安心なまちづくり、さらに下水道資源の有効活用を進めるため、下水道事業に係る国費の総額を確保した上で、下記の取組を推進されたい。

1. 提案・要望内容

【提案・要望先】財務省、国土交通省

(1) 下水道施設の整備・更新等に対する財政支援の充実

- 下水道施設の計画的な整備・改築更新に対する必要な予算額の確保
- 汚水処理の広域化・共同化に対する財政支援

(2) 防災・減災、国土強靱化の着実な推進に向けた予算の継続的な確保

- 大雨や地震等の災害への備えに対する財政支援および現行制度の継続

(3) 雨天時浸入水対策および下水道資源の有効活用に対する支援

2. 提案・要望の理由

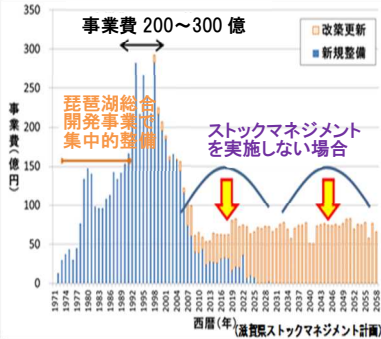
- 下水道施設のストックマネジメント計画に基づく計画的な改築更新
琵琶湖総合開発事業で施設を集中的に整備したことにより、耐用年数を超過した設備が急増しており、老朽化対策として計画的な改築更新に対する予算額の確保が必要。
- 汚水処理の広域化・共同化
汚泥の集約処理、農業集落排水施設の下水道への接続等により効率化を進めているが、さらなる経営の安定化のため、引き続き広域化・共同化への財政支援が必要。
- 災害への備えに対する支援
近年、集中豪雨が頻発しており、また、今後、大規模地震の発生が予想される中、国土強靱化を着実に進めるため、雨水対策や地震対策への財政支援や総合地震対策事業制度の継続が必要。
- 雨天時浸入水対策への支援
集中豪雨や老朽化等に起因する雨天時浸入水については、ガイドラインに基づく効果的な対策を推進するため、継続的支援が必要。
- 脱炭素・グリーン化に向けた下水道資源の有効活用への支援
未利用となっている下水道資源を有効活用し、エネルギー利用や農地利用を推進するため、引き続き事業推進に対する財政支援および技術的支援が必要。

(本県の取組状況と課題)

① スtockマネジメント計画に基づく改築更新

新規整備+改築更新で
約70億~80億円/年
の事業費が必要!

湖南中部浄化センター
2系水処理施設



腐食等により躯体が劣化

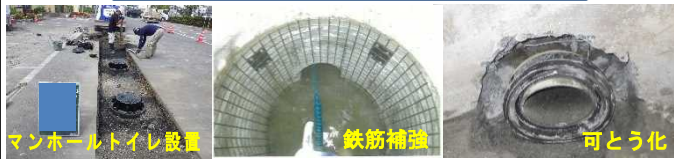
水処理施設更新工事
R1~R6 79.6 億

② 汚水処理の広域化・共同化



農集排の接続例(長浜市 令和4年度)

③ 災害への備えに対する支援



耐震化の例(左:マンホールトイレ、中央:人孔、右:管口)

④ 雨天時浸入水対策への支援

- ・湖南中部処理区で溢水被害が発生(H25)
- ・県・市町による不明水対策検討会の設置(H26)
- ・国による雨天時浸入水対策勉強会の設置(R3)
- ・県マニュアルを見直し(R4)



H29 台風21号東近江市内



不明水対策検討会 R3. 12

⑤ 脱炭素・グリーン化に向けた下水道資源有効活用への支援

下水汚泥の発酵コンポスト化施設の事業執行、
滋賀らしい資源循環にかかる取り組みを推進!



嫌気性消化によるエネルギー利用および下水汚泥の固形燃料化の事業執行、リサイクル率向上、CO2ネットゼロをめざす取り組みを推進!

未利用となっている下水道資源を有効活用し、
循環利用や脱炭素化をめざす事業への継続的な
財政支援および新技術の情報など技術的支援を!

担当: 琵琶湖環境部下水道課施設管理・建設係
TEL 077-528-4221